

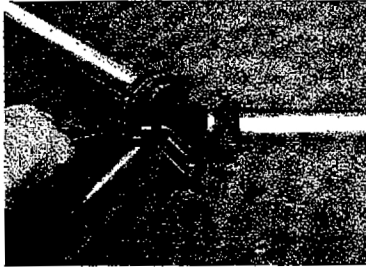
3脚ヘッド取扱説明書

この度はタコマン3脚ヘッドをお買い上げ頂き、誠に有難うございました。
安全にご利用頂くために、下記の注意事項をご熟読下さい。

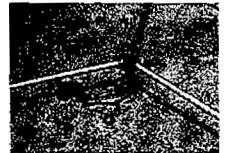
①組立て説明

1. 鉄パイプ・又は丸太を3本と、道具としてスパナ1丁をご用意下さい。

許容荷重	型式	使用できるパイプ径	付属部品	組立道具
1トン	TS-10	46～78mm	ボルト8*40、8*70、丸ワッシャー、スプリングワッシャー、ナット	13mmスパナ
2トン	TS-20	46～90mm	ボルト10*110 丸ワッシャー、スプリングワッシャー、ナット	17mmスパナ



- * ボルトは、内側(上)・外側(下)どちらからでも差し込み出来ます。
- * 丸ワッシャー・スプリングワッシャーは、外側に入れて下さい。
- * スパナ(締め付け)作業は、外側でして下さい。
- * 短い脚(2.5m以下)の場合、3本を閉じたまま取り付けて下さい。

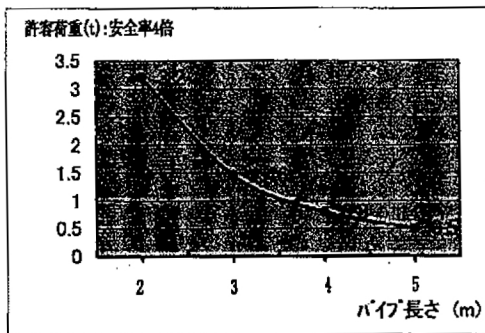


チェーンブロックを取り付けた
後で立ち上げて下さい。

②推奨使用パイプ

タコマン3脚ヘッドは、上記外径の丸太やアルミパイプ等も使用できますが、最も入手しやすく、かつ品質も安定している構造用鋼管(単管パイプ φ48.6mm)を推奨しています。

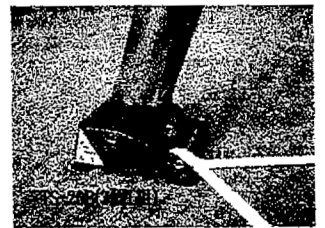
許容荷重	型式	推奨するパイプ	厚さ	パイプ長さ	地面とパイプの接地角
1トン	TS-10	単管φ48.6mm	2.3mm	3.5m以下	70度以上
2トン	TS-20			2.5m以下	



- * 左グラフは、単管パイプ(φ48.6mm、肉厚2.3mm)を接地角70度・3脚均等荷重で据え付けた時の、パイプ長さで許容荷重の変化を表しています。
パイプが長くなればなるほど、許容荷重が減少しますので充分注意して下さい。
- * φ60.5mmの鋼管(肉厚2.3mm)を使用すると、長さ3.5mまで2トン用として使用していただけます。

③使用ベース

3脚ヘッドにパイプを組み付けたあと、コンクリート等の硬い地面上では単管パイプが接地しにくくなります。
また、脚元を締結するロープもうまく取り付けられません。
そのため、弊社ではφ48.6単管なら差し込んでボルトを締めるだけの(φ60.5鋼管はドリルで穴あけ必要)
角度可変3脚ベース(型式TS-20B)をご推奨しています。あわせてご利用下さい。



④ご使用上の注意

- *脚元が広がらないように、ロープ又はチェーン等で3脚を固縛して下さい。
- *吊り荷の下方には、絶対入らないで下さい。
- *許容荷重を超えた、荷物は決して吊らないで下さい。
- *丸太などの許容荷重の計算のしにくいものは、充分安全にご配慮下さい。
- *斜め下方にある荷物は、危険ですから吊らないで下さい。
- *吊り荷重が同じでも、接地角度が小さくなれば許容荷重は減少します。

右のグラフは、TS-10(1トン用)ヘッドと長さ3m φ48.6mm・肉厚2.3mmの単管パイプを3脚均等荷重で使用したときの、接地角と許容荷重の変化を表しています。

